

"スロー"な視点で現代社会では見えにくくなった"何か"を感じたい。

ピンホールカメラは、レンズのかわりに小さな孔から光を取り込んで撮影します。露光時間は被写体や天候によってさまざまなので、ベテランといえども仕上がりは予想しきれません。デジタルカメラのような便利さとはかけ離れていますが、針で孔を開け、焦点距離をとり、被写体をじっくり向き合う時間は自分自身と真摯に向き合う時間でもあります。自分の五感を信じて露光時間を決め、小さな孔から差し込んだ光が像を結んだとき、頭ではなく身体を通じて感動を味わう。この感動こそがピンホールカメラの魅力かもしれません。

ピンホールカメラで撮っていると、人間の目には見えない時の流れや、変わることもない物事の本質に気づかされることもあります。長時間露光で撮ることで、一瞬の姿ではなく、時の経過を一枚の写真にとどめることができるからです。たとえば空の雲を見たとき、私たちは全てが同じ方向に同じ速度で進んでいるように感じますが、ピンホール写真でその痕跡を辿ってみると、実は上層部と地上に近い層では逆の方向に流れていたり、雲が私たちの想像を遙かに超えて自由奔放に動き回っていたりしていることが分かります。雲ひとつとっても、私たちは見ていた"つもり"だったのだ、分かっている"つもり"だったのだと、ピンホール写真との付き合いが長くなるほどに、人間の目に見えるものは、この世界のごく僅かな表面なのだと思えてきます。そして、その背後には、悠々と流れる時間と変わることもない物事の本質があるということに気づかされます。

すべてにスピードが求められている時代だからこそ、こうしたスローな視点が大切なのではないかと。

鈴鹿芳康 (写真造形作家・京都造形芸術大学教授)

発表

・入賞者に直接通知 2008年 8月初旬

表彰

グランプリ	1名	賞金20,000円	紋別市特産品他
金賞	1名	賞金10,000円	紋別市特産品
銀賞	1名	賞金5,000円	紋別市特産品
入選	5名		紋別市特産品

審査員

< 審査委員長 >

鈴鹿芳康 (写真造形作家、京都造形芸術大学教授)

< 審査員 >

宮川良一 紋別市長

エリック・レナー (アメリカ・ピンホールリソース主宰)

応募先

紋別市立博物館 ピンホールフォトコンテスト係

〒094-0005 紋別市幸町3丁目1番4号 TEL0158-23-4236 FAX0158-24-9755 E-mail hakubutu@city.mombetsu.lg.jp

応募にあたっての注意

- ・作品は全てピンホールカメラもしくはピンホールを使用し撮影した作品に限ります。
- ・ご応募いただく作品は、未発表、未公開で、応募者が全ての著作権を有しているオリジナル作品に限ります。また、過去に他のコンテストにおいて入賞した作品および他のコンテストにご応募中の作品はご応募できません。
- ・ご応募いただいた作品が法令または公序良俗に反するもの、あるいは本コンテストの趣旨にそぐわない内容と主催者により判断された場合は失格となります。18歳未満の方は保護者の同意を得た上でご応募ください。18歳未満の方がご応募された場合は、保護者の同意を得た上でご応募されたものとみなします。
- ・入賞作品の使用権は実行委員会に帰属し、コンテスト実行委員会が宣伝物等に無償で使用することがあります。応募作品は返却しません。
- ・印画紙(銀塩タイプ)もしくはインクジェットによるプリントでご応募ください。額装したもの、インスタレーションなどは受け付けません。
- ・デジタルカメラによる作品も応募できます。
- ・作品の裏面に応募票を貼付してください。
- ・作品は未発表または発表予定のないものに限ります。
- ・規定外のサイズや台紙・パネルに貼ったものは失格となります。
- ・作品の受付通知はしません。
- ・被写体が人物の場合、肖像権侵害等の責任は負いかねます。応募にあたっては必ず被写体本人の承諾を得てください。
- ・グループでの応募はできません。個人応募に限ります。

応募作品の取扱いには十分注意しますが、万一の事故に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

オホーツク・紋別 ピンホール写真フェスティバル2008

ピンホールフォト コンテスト 応募票

作品タイトル

氏名

住所 〒

電話 ()

使用カメラ・ピンホール撮影の手法

受付No.